

発足50年記念して熱戦



熱戦が繰り広げられた金星クラブの発足50周年記念試合＝岐阜市宇佐、ハツ草球場

軟式野球の金星クラブ OBや現役が試合

発足から今年で五十周年を迎えた岐阜市の軟式野球「ミーティングリーグ」所属の金星クラブ。OBや現役選手たちが熱戦を繰り広げた。

露した。けは、松田さんに曲る岐阜市の作詞・作吉秀彦さんが記者にこと。「岐阜を愛す心意気を、もっと世たい」。

勝吉さんに提案した家でのコンサートだ場を下見した松田さぐにコンサートを開決めた。採算性は無は約二時間の本番をて、自身のテーマとの魅力を存分に歌い

東京か浪花かよ そには目もくれず ほと汗ながし 黙っての根っこ 岐阜の岐の心意気」(岐阜は夢囃子)。岐阜の野気。歌詞と松田さ

羽島支局 岡部導智賢

同クラブは、一九五六(昭和三十一年)年に市内の野球愛好家ら十人で結成。九一年には、全国屈指の草野球チームが集うグリーンカップに県代表で参加するなど輝かしい功績を残してきた。

この日は、OBと現役選手の混合チームで試合。各時代のユニホームを着た選手たちは、球場に快音を響かせていた。好プレーで会場を沸かせた発足時のメンバー井戸富朗さん(六九)同市尻毛は「若い人たちがチームを続けてくれてうれしい」と笑顔で話していた。

(三輪真大)